

2020年9月16日

国際病理アカデミー(IAP)日本支部  
会員 各位

国際病理アカデミー(IAP)日本支部  
会長 吉野 正

### 2020年 IAP 日本支部理事選挙 投票のお願い

清秋の候、先生におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、この度、国際病理アカデミー日本支部会則第5章、役員、第7条から第9条に従いまして、任期を満了されます理事2名（清川貴子先生、中村直哉先生）の後任についての理事選挙を行います。任期は2021年－2023年です。2020年 IAP 日本支部理事指名委員会において、国内外での IAP などへの活動、貢献、地域性、専門領域などを慎重に審議した結果、次の4名を理事指名候補者と決定しました。なお、候補者のプロフィールについては、指名委員会の責任によるものであります。

下記の要領に従い、HP マイページにてご投票をお願いします。マイページ上での電子投票になります。

記

投票期間：10月1日(木)12:00 から 10月14日(水) 17:00まで

1. 次項の選挙公報をご覧ください。
2. マイページへログイン後、「理事選挙」項目より投票してください。理事指名候補者4名の中から2名まで投票することができます。投票後は確認メールが送信されます。Eメールアドレスが未登録の会員は登録情報を早急に更新してください。
3. マイページへのログイン情報が分からない会員は事務局へご連絡ください。

以上

2020年 IAP 日本支部理事指名委員会

委員長	加藤良平	副委員長	中谷行雄
委員	松原 修	委員	長村義之
委員	小田義直	委員	都築豊徳

2021-2023 年 理事指名候補者

アルファベット順、敬称略。氏名、現職、出身大学と卒業年、年齢、出身地区、専門領域、IAP 活動などへの貢献、抱負

原田 憲一  
HARADA KENICHI



金沢大学医薬保健研究域医学系 人体病理学 教授

金沢大学 1991 年卒 53 歳 中部地区  
肝胆道系

IAP 日本支部スライドセミナー講師 (2020-22) 予定

IAP 日本支部教育委員 (2019-21)

IAP 日本支部病理学教育セミナー会長 (2016)

IAP 日本支部病理診断講習会モデレーター・講師 (2016)

USCAP 発表 (2012, 2013, 2017)

抱負：支部活動および各支部との連携を強化しつつ、若手病理医の人材を育成し、IAP の更なる活性化に尽力します。

近藤 哲夫  
KONDO TETSUO



山梨大学大学院総合研究部医学域 人体病理学 教授

山梨医科大学 1995 年卒 50 歳 関東地区  
内分泌系

IAP 日本支部教育委員 (2019-21)

IAP 日本支部合同会議実行委員 (2016-18)

IAP 日本支部事務局 (加藤常任幹事) (2010-13)

IAP Int'l Congress 発表 (2007, 14)、APIAP 発表  
(2013)、USCAP 発表 (2002, 04, 06, 07, 11, 12,  
15)、IAP 日台合同 SC 発表 (2012, 14)、IAP 日韓  
合同 SC 発表 (2011, 13)

抱負：カタチの病理学は with ゲノム、with AI の時代。観る力の継承と新しい知の吸収に取り組みます。

村田 晋一  
MURATA SHIN-ICHI



和歌山県立医科大学 人体病理学教室/  
病理診断科 教授

富山医科薬科大学 1986 年卒 59 歳 近畿地区  
泌尿器系・内分泌系

腎盂尿管膀胱癌取扱い規約委員

Virchows Archiv 2020 Microtubule-organizing ---

Am J Surg Pathol 2020;44:1031 ACD-RCC ---

PLoS One 2020;15:e0236373 Cell membrane  
surface charge of fixed cells ---

Lab Invest 2020;100:727-737 Adipophilin in  
melanoma---

抱負：気軽な国際交流を通じて、講習会やコンサルテーションなど、日常の病理診断に役立つ環境作りを目指します。

谷野 美智枝  
TANINO MISHIE



旭川医科大学病院 病理部 部長・教授

旭川医科大学 1993 年卒 53 歳 北海道地区  
呼吸器系、中枢神経系

IAP 日韓合同 SC 発表 (2017)

USCAP 発表 (2018)

Int'l Neoplastic Pathology Summit 発表 (2019)

日本病理学会北海道支部診断病理担当幹事  
(北海道病理医会会長、2019-)

Associate editor, Respiratory Investigation (2020-)

抱負：コミュニケーション能力をいかし国内外の先生との交流を通して IAP 日本支部の益々の発展に貢献します。